



思考を巡らす 図画工作の時間

『1年生ともっと仲良くなるために、電動糸のこぎりを上手に使い、オリジナルコロコロガーレを作って、1年生と一緒に楽しく遊ぼう』目的を果たすため、5年生が材料を用意し、図工室での活動に取りかかります。この日のめあては“糸のこぎりのコツを活かして作品を完成させよう”です。この時間が作成する最後の時間となりました。

最終段階に入った作業工程を見直すため、糸のこぎりのコツをもう一度見直しました。できること、そしてどのように行うのかを確かめ、一人一人が自己目標を掲げていきました。色をつけたり、もっと道をつくったりしていくために、どんな計画を立てるといいのかを考えます。片付けの時間も考慮しながら、自分のすべきことを iPad に書き込んでいきました。自分の周りの環境を整え、自分自身で作業チェックをしながら学習を進めていました。

ビー玉がうまく転がるかを確かめる子、色をカラフルに塗り上げる子、何度も糸のこを使って細かい部品を作り上げる子、時間を逆算して完成までの工程を考える子など、同じテーブルの中でも、それぞれが自分の作品に集中し作業を続けていました。タイマーをセットし、自分で計測しながら完成に近づけていきました。完成させるだけでなく、ポイントで友達から聞いた工夫を取り入れたり、時間を見て工程の見直しをしたり、付け加えられるところはないか、削れるところはないかと、自己調整しながら作業を進めていました。ビー玉がうまく転がると、嬉しそうな表情の子供達が印象的でした。



4年生 OPAM プロジェクトと題し、完成したネームプレートを見合う4年生の子供達。この時間からは“目にとまるポップの工夫やわざを活かしてデザインを考えよう”とイメージを膨らませていきました。文字の工夫や色の工夫をどのように行っていくか、人の視線に注目し、縦書きや横書きの際の向きの工夫をみんなで確認し合いました。

ポップデザインシートや本のイメージふくらまシートを使いながら、紹介する本はどんな本なのかを伝えていくための思考を巡らせていました。それぞれが読んだ本をもとに、どんな感じにしていくなかを話し合っていました。イメージを伝える子、イラストを見せている子、本を紹介している子など、デザインシートなどに書き込んだ事柄を相手に伝えていました。

イメージ:不思議な感じ 文字:少しクネクネしている 色:赤・青・黄色・緑。シートに書き込んだ内容を紙にレイアウトしていったり、iPad 上にイメージを広げて描いてみたり、最後までシートを使って自分の考えを見直したり、友達にもう一度相談して、自分の描きたいものを想像したりと、それぞれがポップ作りを完成させるための活動を自分なりに進めていました。銭天堂・赤毛のアン・怪談レストラン・土方歳三・ミッケ・ONE PIECE・ひみつシリーズ等、さまざまなジャンルの紹介が進んでいきそうでした。振り返りでは、自分が選んだわざや工夫についての理由や次にしていくことを改めて確かめていました。

